

長岡市の良好な環境を将来につなぐための取り組みを紹介します

環境に関する今話題のキーワード

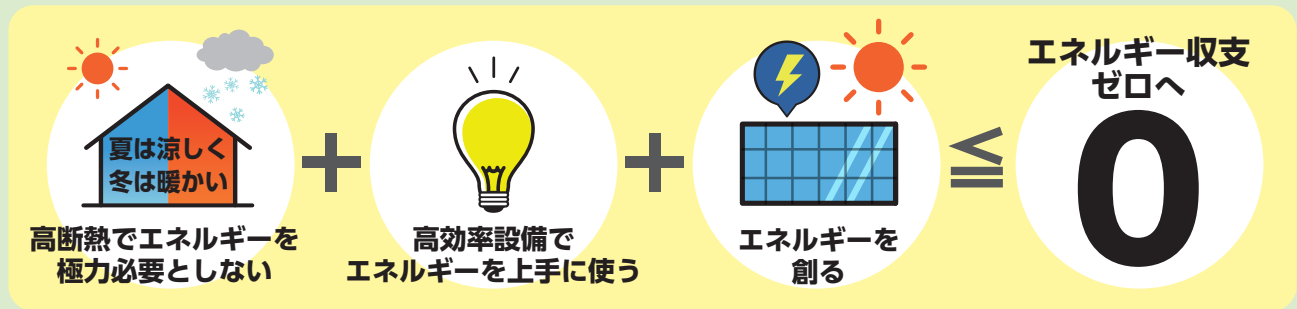
「ZEH」という言葉、聞いたことがありますか？

ZEHとはnet Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) のことで、「住まいのエネルギー収支をゼロにする家」のことを言います。高断熱・高気密化・高効率設備によって電気やガスなど使うエネルギーを減らしながら、太陽光発電などでエネルギーを作り出し、「冬は暖かく、夏は涼しい」エコで快適な暮らしを実現する省エネ住宅です。

住宅のZEH化や太陽光発電の導入を支援するプロジェクトを実施中！



※申請期間等、詳しくはホームページでご確認ください。

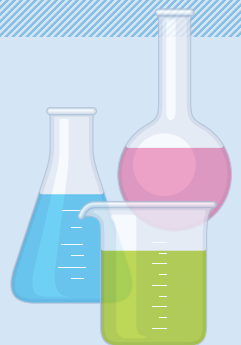


こんな「化学物質」知っていますか？

「有機フッ素化合物(PFAS)」の一種

PFOS・PFOAとは

撥水・撥油性、熱・化学的安定性等の性質があり、2000年代はじめごろまで、さまざまな工業で使用されました。私たちの身の回りの製品を作る際にも使われてきましたが、環境中の残留性や健康影響の懸念から、現在では、日本を含む多くの国で製造・輸入等が禁止されています。



暮らしの中の Q&A



●フッ素コーティング製品に使われている？

→現在は使われていません。PFOS・PFOA以外のフッ素化合物が使われています。

●一度身体に入ったら一生残る？

→体外へ排出されて徐々に減ります。

●水道の水は大丈夫？

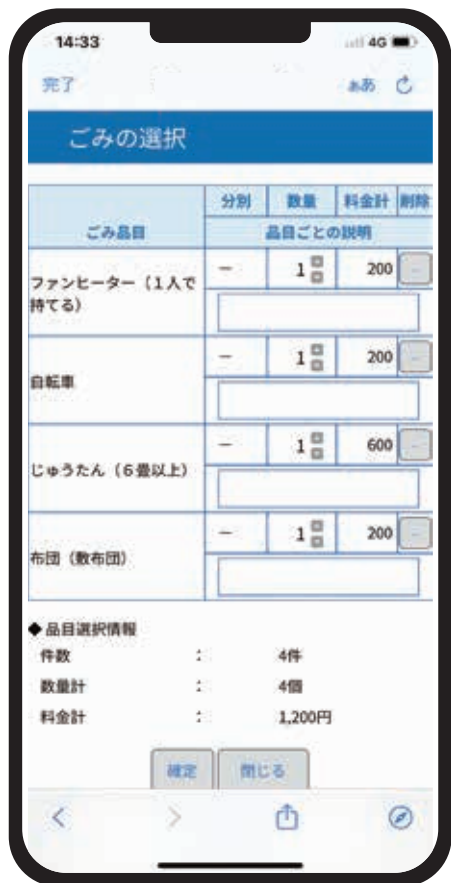
→長岡市水道局が実施した水質検査結果では、全地点で国が定める暫定目標値50ng/L (ナノグラムパーリットル)*を下回っています。

※毎日2Lを一生涯飲み続けても健康への悪影響が生じないと考えられるレベル

●食べ物？普通に生活していて大丈夫？

→国の機関である食品安全委員会は、「通常の一般的な食生活では、著しい健康影響が生じる状況にはない」としています。

粗大ごみのインターネット受付が**便利**になりました




申し込み時に収集日が分かるよ！直近の収集日以降であれば自由に選べるようになったよ。収集日前日にはメールでお知らせもあるよ。



その場で料金も分かるようになったよ！インターネットで変更やキャンセルも出来るよ。
※変更等は収集日の4営業日前まで可能



粗大ごみの申し込みはお早めに！ 粗大ごみの収集は、事前申込制による戸別収集です。申し込みのない粗大ごみは収集できません。例年3月～5月は申し込みが多いため、収集が受付から最長で2週間程度かかる場合があります。申込状況によっては、収集の日はご希望に沿えない場合がありますので、お早めにお申し込みください。

申込方法	受付日時	収集日時など
インターネット 申し込みは⇒ 	年中24時間受付 ※市ホームページの電子申請サービス「粗大ごみ申し込み」から申し込みください。	【収集日時】 月曜日～金曜日 午前8時30分～夕方までの間 ※祝日・振替休日・年末年始は除きます。 ※家屋に入っての収集や収集時間は指定できません。 ※1回に収集できるものは5点までです。 ※留守でも収集します。 【申込時の確認(電話・FAX)】 ①品目 ②大きさ(縦・横・高さ) ③数量 ④住所、氏名、電話番号
専用電話 0258-25-0053	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時 ※祝日・振替休日・年末年始は除きます。 ※休日明けは電話が混みあいます。繋がらない時は時間をずらして電話してください。	
専用FAX 0258-25-0064	年中24時間受付 ※受付後に電話かFAXで返信します。	

3月は引越しシーズンです

ごみステーションに多量の引越しごみを出されると、ほかの方が出せなくなります。計画的に、何度かに分けて出しましょう。
引越しごみはステーションに出すほか、下記処理施設に持ち込むこともできます。**事前に電話をし、施設の確認を受けてから**持ち込んでください。

持込先施設名	所在地	電話	持ち込むことができるごみ	
			燃やすごみ	燃やさないごみ・粗大ごみ
寿クリーンセンター	寿3丁目6-1	(0258) 24-2856	○	×
中之島信条クリーンセンター	中条新田1080-2	(0256) 97-7260	○	○

まだ使える家具や家電製品、衣類などは、一括査定サイト「おいくら」やリサイクルショップ・フリーマーケットで再利用することを検討してください。ごみの減量と環境美化にご協力をお願いします。

「おいくら」の詳細はこちら▶



長岡市の団体等が表彰されました!

◆秋季善行表彰受賞

昨年11月、長岡クリーンクラブ(代表 品田秀男さん)及び栃尾山田町の今井法夫さんが、一般社団法人日本善行会の令和6年度秋季善行表彰で長年の美化活動の功績が認められ、表彰されました。



▲関原南町内会の皆さん

◆集団回収団体へ感謝状

昨年12月、公益財団法人古紙再生促進センター新潟分会が長年にわたり古紙の集団回収に取り組んでいる5団体に感謝状を贈呈。市内では「関原南町内会」に感謝状が贈られました。

◆資源回収奨励金交付制度

集団回収を行った団体(子ども会、町内会等)に、1kg当たり3円の奨励金を交付します。



制度の詳細はこちら▶

使用済み天ぷら油が新しい燃料に生まれ変わります!

市では、家庭から出る使用済みまたは未使用(使用期限切れ)の植物系の天ぷら油(菜種油・大豆油・ごま油・コーン油・サラダ油)を拠点回収しています。回収後の使用済み天ぷら油は、軽油の代替燃料となるバイオディーゼル燃料に再生されます。



▲詳細はこちら

ごみと資源物の出し方のルールを守りましょう



出すのは午前8時30分まで

ごみと資源物の収集は午前8時30分から開始して夕方まで行っています。ごみの種類や量、天候や交通事情などにより収集する時間や経路が変わる場合があります。

収集が終わった後にごみを出されると、ごみステーションにそのまま残り、町内や当番の方の負担となってしまいます。

収集後に出されたごみの再収集は行いません。

午前8時30分までのごみ出しにご理解とご協力をお願いします。

収集品目ごとに置き場所を分けましょう

「びん・缶・ペットボトル」と「燃やさないごみ」など、同じ日に違うごみを出す日にはごみステーション内でそれぞれ分けて置いてください。

収集漏れ防止や作業効率化のためにご協力をお願いします。

お住まいの町内の決められた
ごみステーションを利用しましょう

不法投棄は犯罪です!



不法投棄をした場合、違反者は5年以下の懲役もしくは1千万円以下の罰金またはこの両罰が、法人の場合は3億円以下の罰金が科せられます。

- ごみの不法投棄を見つけたときは、現場はそのままにして土地や施設の所有者、管理者に連絡してください。
- 所有者がわからない場合は、環境業務課(☎0258-24-2837)か、各支所地域振興・市民生活課(栃尾支所は市民生活課)へ連絡してください。土地の管理者や警察と協力して対応にあたります。

4月から、「びん・缶・ペットボトル」の出し方が変わります

週1回収していたびん・缶・ペットボトルについて、**4月から第5週は収集がありません。アルミ缶・ペットボトルはつぶして小さくしてください。**

詳しくは同時配布の「家庭ごみと資源物の収集カレンダー」及び「令和7年度ごみの分け方と出し方」をご覧ください。川口地域は出し方に変更はありません。

なぜトキは日本から姿を消したのか

トキや自然環境保全について中央図書館で学んでからトキと自然の学習館(寺泊地域)で本物のトキを見てみませんか。

展示期間 令和7年3月1日(土)～3月30日(日) ※両館とも月曜日休館

中央図書館特設コーナー

子どもが楽しみながらトキや自然環境保全について学べる絵本や大人向けの環境問題に関する図書などを集めて展示しています。ぜひ読んでみてくださいね。

トキと自然の学習館では、トキの生態について学んだり、本物の羽や卵の模型に触れたりすることができます。また、隣接する観覧棟「トキみ〜て」では生きたトキを間近にご覧いただけます(入館料:高校生以上100円、中学生以下無料)。ぜひご来館ください。



詳しくはHPをご覧ください。



▲中央図書館HP



▲トキと自然の学習館HP

朝日城の森、雪国植物園のご紹介

昨年、朝日城の森、雪国植物園が新潟県内1、2件目の自然共生サイト(※)として環境大臣から認定されました。自然共生サイトの認定は、本市が環境基本計画で掲げている「良好な環境の将来世代への継承」の取組成果でもあります。

朝日城の森



朝日城の森は、こしじ水と緑の会が所有する約3haの里山です。森の植栽部分は50～60年生くらいのスギ林で構成されており、昭和30年代に造林されました。自然植生部は雑木林で、雪国植生をなしています。



雪国植物園



長岡市西部の雲出地区の丘陵に広がる雪国越後の里山を、そのまま利用した自然生態系を保護する公園で、里山の原風景を見ることができます。また、希少生物の生育場となっています。

(サイト面積: 34.82ha)



※2022年にカナダ・モントリオールにおいて189か国が参加した生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で、2030年までに、世界の陸と海の30%以上を健全な生態系として保全する世界目標「30 by 30(サーティ・バイ・サーティ)」が採択されました。

その目標達成に向け、環境省が令和5年度から国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する区域(OECM)として国際データベースに登録する自然共生サイトの認定制度を開始しました。